

# 令和元年度 学校関係者評価報告書

奈良学園小学校

1. 学校関係者評価実施日 令和2年3月11日(水)～23日(月)
- 1学期及び2学期に実施した保護者アンケート結果や学校教育全般にわたる説明を行い、学校関係者評価者よりご意見をいただく日を予定していたが、学校臨時休校により中止となった。そのため、郵送により資料を送付し、評価書をいただいた。

2. 評価者名 藤井利秀、北川郁美、山本晴美、有地真知、木下稔子、岡島貴美代、柳澤恭子、小沼民枝、竹田美奈子

## 3. 評価結果

### 【大項目】

#### I 教育活動に関するもの

### 【中項目】

#### (1) 教育目標・教育計画

- ・社会科見学や各種体験、宿泊学習などの直接体験を通した学びも多く取り入れられており、経験に根ざした役に立つ学びが随所で行われていると思う。校内校外を問わず、本物の学び体験をさせていただいている。

#### (2) 教科指導

- ・M生よりの教科担任制や習熟度別の授業は、中学進学後のスムーズな学びへ大きく影響を与えていると思われるので、引き続き今まで通りのきめ細かい授業内容の提供をしていただきたい。
- ・情報の授業を初めとして、ふだんの授業でも情報機器を活用されており、子どもたちもプレゼンをする際に情報機器をうまく使って自らの意見を発表することが身につけている。
- ・今後、プログラミングの授業必修化に伴い、どのような授業が行われるのか現時点では不明な点も多く、説明の機会を随時持っていただきたい。
- ・自主学習の宿題のおかげで、家庭での学習が定着し、とてもよい習慣ができたように思う。中学校に上がってからの定期考査に対する準備は、M1・M2から定期考査になれてきたこともあって、スムーズに取りかかっている。
- ・英語については、小学校1年生からALTの先生に習い、学習時間も長く、ハワイの宿泊学習など、英語に関わる時間が多いので、中学から入学した生徒に比べると余裕を持って学習できている。

#### (3) 道徳・特別活動

- ・学校行事は、充実した行事を計画している。特に宿泊学習は毎年内容を見直して年々充実した内容になっていて素晴らしい。運動会や尚志祭などでも見る側の保護者にとってわかりやすい工夫がある。一方、改善のための変更であっても、毎年変更があると学校の方針がぶれているような印象を受けてしまいがちになるため、考え方を丁寧に説明していくことが大切だと思う。
- ・行事を通して様々な力を身につけてくれていると感じている。また、M1・M2も小学校高学年としてしっかりリーダーシップを発揮できる場を作っていただいている。ただ、行事が多過ぎて、子どもたちが少しつかれていると思うこともある。
- ・幼小交流や合同運動会などは、一貫校ならではの素晴らしさだと思う。お兄さんやお姉さんと一緒に何かをすること、下級生の面倒を見ることを子どもはとても喜んでいる。是非続けてほしい。

## (6) 生徒指導

- ・クラスの様子や子どもの置かれている状況により、保護者の評価も大きく分かれるところだと思う。学校としては、真摯に向かい合っていると思う。子どもも保護者も何かあった場合に相談しやすい環境ができていると思う。
- ・身につける物や持ち物、髪型について、ルールが決められているところから外れている児童を見かける。守っている児童も多く、もっと指導してもよいと思う。
- ・きちんとあいさつをする児童が以前より減ったなと感じる。

## 【大項目】

## II 学校経営に関するもの

## 【中項目】

### (3) 安全管理

- ・電車の遅延や警報発令時、すぐに一斉メールで発信があり、不安に思うことはあまりない。登校見守りのボランティアなど、事象後すぐの対応があり、よかった。
- ・構内の駐車場の使い方が無断駐車が行っており、厳しく取り締まってもよいのではないだろうか。

### (8) 児童募集・広報

- ・幼稚園の保護者に対して小学校の魅力・よさを伝える機会は多いが、子どもの将来を考えて先を見据えたときに、中・高の魅力が伝わってこないことで、中学受験を考えて小学校に上がらない判断をする家庭が多い。そのよさが、もっと伝わってほしいと思う。